

報道関係各位  
プレスリリース

2017年10月5日

## 日比谷図書文化館 開館6周年記念講演会

千代田区立日比谷図書文化館は、11月4日に開館6周年を迎えます。開館6周年を記念して、図書館機能を中心とした複合文化施設の「魅力ある文化空間」「学びの拠点」にふさわしい2つの特別講演会を行います。

### 講演会①

#### 「折り」の科学と美学 —折り紙から ORIGAMI へ—

紙を折ることで形を作り出す「折り紙」は古くから私たち日本人の身近な遊びのひとつとして親しまれてきました。近年では、その「折る」という操作に対する幾何学的なアプローチによって、目を惹く美しさを持つ構造を1枚の紙から折りだすことが可能となっています。さらには工学的に有用とされ、宇宙開発、建築、医療、ファッションなど幅広い分野で注目をされています。

本講演では、近年に至るまでの折り紙の歴史を俯瞰することで、文化や数学、アートといった異なる視点から折り紙を捉えると共に、講師自身が取り組んできた研究の紹介を交えながら、さらなる折り紙の可能性についてお話しします。



#### 日時

2017年11月1日(水) 19:00~20:45 (18:30 開場)

#### 講師 三谷 純 (筑波大学大学院システム情報系情報工学域 教授)

1975年 静岡県生まれ。2004年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。理化学研究所研究員を経て2005年より筑波大学に勤務。主な研究テーマはコンピュータグラフィックス分野における形状モデリング。日本折紙学会評議員、日本図学会理事などを歴任。情報処理学会など正会員。折り紙の形状設計に関する研究では、ISSEY MIYAKE とのコラボレーションなどの実績がある。主な著書に『立体折り紙アート』(日本評論社)『曲線が美しい立体折り紙』(ブティック社)などがある。



## 維新と「文明」を考えなおす

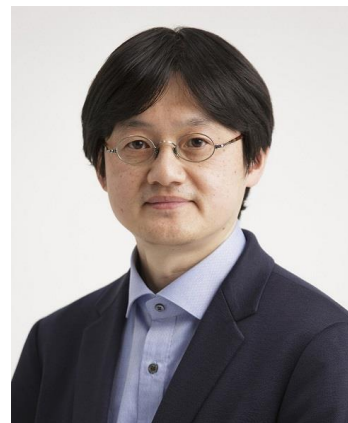
来年は明治維新 150 年。全国各地でさまざまな行事が催されるようですが、今私たちに必要なのは、明治維新とは何か、文明開化とは何かをもう一度考えてみることではないでしょうか。「尊皇攘夷」とか「和魂洋才」といったよく耳にする通俗的なイメージを一度取り払い、江戸時代から明治という時代に生きた人たちの言説をじっくりと読み直してみると、1868 年の政治変動だけには尽きない、大きな思想史の流れが見えてきます。その奥底には、徳川時代にすでに始まっていた考え方の変化があります。その実相と意義について、世界大の視野において考え、現代の関心に即した新たな歴史像を、気鋭の日本政治思想史研究者が提示します。

### 日時

2017 年 11 月 9 日（木）19:00～20:30（18:30 開場）

### 講師 あさむね たかし 阿部 直（東京大学法学部教授）

1994 年、東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。博士（法学）。東京大学法学部助教授をへて、現在は教授。日本政治思想史を専門とする。著書に『光の領国 和辻哲郎』『丸山眞男—リベラリストの肖像』（サントリー学芸賞受賞）『移りゆく「教養」』『鏡のなかの薄明』（毎日書評賞受賞）『ヒューマニティーズ 政治学』『歴史という皮膚』『秩序の夢』『「維新革命」への道』『日本思想史への道案内』などがある。



### ■各講演会共通■

- 会場：日比谷図書文化館 地下 1 階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200 名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000 円（千代田区民 500 円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
- 申込方法：来館（1 階受付）、電話（03-3502-3340）、E メール（college@hibiyal.jp）いずれかにて、  
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341